

いわて復興だより

がんばろう！岩手 つながろう！岩手

三陸復興

第 85 号

平成 27 年 6 月 1 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

梅雨入りを前に田植えも終わり、野山の草木もすくすくと育ち緑色が広がる岩手県の今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

「橋野鉄鉱山・高炉跡」世界遺産登録へ

釜石市

平成 27 年 5 月 4 日（月）、ユネスコ世界遺産委員会の諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）は、釜石市の「橋野鉄鉱山・高炉跡」等を含む「明治日本の産業革命遺産」を、世界遺産への登録が適当であると勧告しました。

「明治日本の産業革命遺産」は、幕末から明治時代にかけて、日本の近代化に貢献した造船、製鉄・製鋼、石炭産業の重工業分野の産業遺産群。福岡県北九州市の「官営八幡製鉄所」や軍艦島として知られている長崎県長崎市の「端島（はしま）炭鉱」等を含む 8 県 11 市にまたがる 23 の資産から構成され、「橋野鉄鉱山・高炉跡」は、現存する日本最古の洋式高炉跡です。

今後は、6 月末からドイツで開かれる世界遺産委員会で、世界遺産への登録の可否が決定される予定です。

勧告を受けた翌日の平成 27 年 5 月 5 日（火）から 6 日（水）には、「橋野鉄鉱山・高炉跡」に隣接する橋野鉄鉱山インフォメーションセンターにおよそ 2,000 人の観光客が訪れ、東日本大震災津波からの復興への弾みになると期待の声が広がりました。

【6 月よりシャトルバスも運行】

釜石市は、今後の観光客の対応として、JR 釜石駅と「橋野鉄鉱山・高炉跡」までの約 33 キロを結ぶシャトルバスを 6 月 7 日（日）から運行させる予定です。

◆ シャトルバス

運行日：6/7、6/14、6/20～12 月上旬の土日祝日（予約制）

（JR 釜石駅発 10：00・13：00）

料金：高校生以上 2,000 円・小中学生 1,000 円・未就学児無料

お問い合わせ：釜石観光物産協会 0193-22-5835（水曜日を除く 9 時～18 時）



橋野鉄鉱山インフォメーションセンターの展示物



三番高炉跡



二番高炉跡

本格復興を担う任期付職員募集！

詳しくは

岩手県職員募集案内

検索

復興事業等に従事する任期付職員を募集しています。未来の岩手県を職員として一緒に作っていただける多くの方の応募をお待ちしております。

【任用期間（予定）】平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで（3 年間）

職種区分	採用予定人員	主な勤務先	主な職務内容
一般事務	47 人程度	県の機関に配属される場合 出先機関（広域振興局等）又は本庁	・ 復旧、復興に係る補助事業等に関する業務 ・ 許認可、その他一般事務
		市町村に派遣される場合 宮古市、陸前高田市、大槌町、山田町の 4 市町	・ 窓口業務、国民健康保険、生活再建相談、 税務、用地取得・補償、その他一般事務
総合土木	38 人程度	県の機関に配属される場合 主に沿岸地区の出先機関（広域振興局等）又は本庁	・ 公共土木施設（防潮堤、港湾、漁港、漁場、 道路、河川、水道等）の災害復旧工事等に 係る設計、積算、発注、工事監督等
		市町村に派遣される場合 宮古市、陸前高田市、大槌町、田野畑村の 4 市町村	・ 公共土木施設等（道路、上下水道、漁港等） の復旧に係る設計、積算、発注、工事監督等
建築	2 人程度	市町派遣のみ 宮古市、山田町の 2 市町	・ 建築確認等業務 ・ 公共施設の設計、積算、発注、施工監理

【一般事務】

（申込期間）

平成 27 年 5 月 29 日（金）～6 月 19 日（金）
（一次試験）平成 27 年 7 月 12 日（日）

【総合土木・建築】

（申込期間）

平成 27 年 5 月 29 日（金）～7 月 3 日（金）
（一次試験）書類選考

被災 3 県合同（岩手県・宮城県・福島県）
採用説明会

■ 平成 27 年 6 月 6 日（土）

12 時開始（11 時 30 分開場）

■ 東京都庁 都議会議事堂 1 階 都民ホール

いわて復興応援団（員）大募集中！

知って、買って、食べて、行って応援！

登録無料



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員（個人）と応援団（法人及び団体）の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団

検索

「復興！番屋・サッパ船まつり」 が開催されました

田野畑村

平成27年5月2日(土)から6日(水)、田野畑村机(つくえ)の机浜(つくえはま)番屋群で「復興！番屋・サッパ船まつり」(主催：NPO法人 体験村・たのはたネットワーク)が開催されました。

漁に使う小型の磯舟を使った人気の観光ツアー「サッパ船アドベンチャーズ」も、東日本大震災津波で流失した「机浜番屋群」の再建に伴い、事務所や船の発着場所が机浜になり、「机浜番屋群」の本格的運用がスタートしました。

まつりの期間中には県内外から多くの観光客が訪れ、「サッパ船アドベンチャーズ」とともに、海水を釜で煮詰める「塩づくり体験」や、新鮮なウニやホヤの殻をさばいて食べる「料理体験」など、漁村の文化を肌で感じながら楽しんでいました。



人気の「サッパ船アドベンチャーズ」

写真提供：
NPO法人体験村・たのはたネットワーク

東北楽天ゴールデンイーグルスが 「人工芝」を寄贈へ

大槌町

平成27年5月2日(土)、大槌町の小中学校生徒や父兄ら46人が、第2回「TOHOKU SMILEデー」と題して開催された、東北楽天ゴールデンイーグルス対埼玉西武ライオンズ戦(楽天Koboスタジアム宮城)に招待されました。

これは、東日本大震災津波の復興支援の一環として行われたもの。

また、東北楽天ゴールデンイーグルスは、大槌町に多目的グラウンド用の人工芝を寄贈するために、募金活動をスタートさせました。

この取組は、スポーツの力で東北の子供たちに笑顔を届けたいと立ち上げた「TOHOKU SMILE PROJECT」の一環で、同町に約12,000m²の人工芝を敷いた「大槌こどもグリーンフィールド(仮称)」を整備する計画。平成28年3月までの完成を目指しています。



募金を呼びかけるスタッフたち(写真提供：大槌町)

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第39回目は、安生 亮太さんを紹介します。

PROFILE

神奈川県川崎市出身。

神奈川県立平塚農業高校2年生の時、被災地に足を運ぶ中、陸前高田市の米崎りんごの生産者らと出会う。その縁でりんご栽培の研修を行うなどしたが、突然病に倒れた。事情を知る生産者らから励ましのメールやりんごが届き、米崎りんごを作ることを決意。平成27年4月、同市に移住し、りんご栽培に励む。

人との出逢いで開けた夢

高校生の時、被災地の状況を自分の目で見たいと三陸を旅する中、たまたま「産直はまなす陸前高田」に立ち寄った安生さん。

農業を営むことを目的に農業高校に通っていた安生さんは、その時の出逢いがきっかけで、平

未来の

さんりく びと

米崎りんご農家研修生
安生 亮太
(あんじょうりょうた)さん



安生さんからのひと言：
おいしいりんごをつくりたい

成25年5月、陸前高田市のりんご農園で研修する機会に恵まれました。

「陸前高田市のりんご園は、被災地であることを忘れるくらい静かでした。人も温かく、陸前高田市に住みたいと思うようになりました。」と当時の印象を振り返りました。

そして、今年の4月には仮設住宅を借り、陸前高田市での生活をスタートさせました。

昔ながらの魅力を残した復興を

「自分が最初に陸前高田市に来た時は、市街地はまださら地でしたが、ベルトコンベアーや盛土など、ゆっくりですが、だんだんと街が作り上がる印象があります。」と話す安生さん。「人口の流出は仕方ない部分もあると思いますが、自分のようにその街に惹かれて移住を考える人も増えていると思います。陸前高田市には、昔からのおいしいりんごがあります。昔ながらのいい所は残しつつ、少しずつ復興していってほしい。」と将来への希望を話しました。

岩手県の被害状況

平成27年4月30日現在

皆様のご支援、ありがとうございます

平成27年4月30日現在

- ▶人的被害 死者(直接死)：4,672人 行方不明者：1,129人
- ▶建物被害(住家のみ、全半壊) 26,163棟

- ▶義援金受付状況 約183億8,074万円(91,452件)
- ▶寄付金受付状況 約196億7,782万円(7,305件)
- ▶いわての学び希望基金受付状況 約73億1,347万円(15,346件)

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

いわて防災情報ポータル

検索

ビジュアル豊富な【いわて復興だより Web】もご覧ください!! <http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第85号 平成27年6月1日号 企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

いわて復興だより

検索

編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は6月15日号の発行を予定しています。